

## 方言資料から見る中国語処置文の類型

佐々木勲人

筑波大学

ysasaki@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

現代中国語には、前置詞を用いて動作・行為の対象を動詞句の前に表示する処置文 (Disposal constructions) と呼ばれる構文がある。標準語の処置文では、(1)のように“把”という前置詞が用いられるが、“把”は「手に持つ」という意味の動詞が文法化したものと考えられている。

(1) 你 把 房间 收拾 一下。[標準語]

you ACC room clean one-time

(部屋を片付けてください。)

一方、中国東南地域の方言資料に注目すると、処置文を構成する前置詞は必ずしも「手に持つ」という意味の動詞と関連がない場合があることがわかる。東南方言において処置文を構成する前置詞は、大きく次の3つのタイプに分けられる。

A 「手に持つ」という意味の動詞に由来する前置詞

(2) 阿拉 拿 个 好 消息 告诉了 姆妈。[吴语：上海]

I ACC this of good news tell-ASP mother

(僕はこのよい知らせを母に伝えた。)

B 「与える」という意味の動詞に由来する前置詞

(3) 尔 晃 门 关起来。[徽语：黟县]

you ACC door close-up-come

(扉を閉めなさい。)

C 「合わせる、混ぜる」という意味の動詞に由来する前置詞

(4) 伊 甚 我 伞 拈去 咯。[闽语：福州]

he ACC my umbrella bring-go ASP

(彼は僕の傘を持って行ってしまった。)

本発表では、それぞれのタイプの前置詞の文法化のプロセスを明らかにするとともに、異なるプロセスを経ながらも、動作・行為の対象を動詞句の前に表示する形式が各地の方言で成立することの意味について考えてみたい。

**キーワード：**処置文，東南方言，文法化，脱語彙化，多機能化